



コトブキ案内 2011 ニュース 9-10月号

発行：コトブキ案内所準備室（寿オルタナティブ・ネットワーク）

「コトブキ案内 2011」は、簡易宿泊所が立ち並び俗に「ドヤ街」と呼ばれる労働者のまちであった横浜・寿町エリアを舞台にこの夏秋期に展開されるプログラム。簡易宿泊所・ hostelなどの宿泊施設やまちなかを活用したアート作品展示や滞在制作プロジェクト、これらめぐるツアーやフォーラムなどのイベントを開催します。このニュースレターでは、最新の予定や活動レポートをお届けします。

コトブキ案内2011 ウェブサイト <http://2011.koto-buki.info/>

Hostel Zen Art Project 第2期竣工



近年寿町に増え始めた、簡易宿泊所を改装したホテル。そのひとつである「Hostel Zen（ホテル ゼン）」の客室や階段室などにアート作品を展開しています。中でも今回目玉となるのが、アーティストによる宿泊可能な客室へのインスタレーション作品。第1期の塩津淳司、曾谷朝絵に引き続き、浅井裕介+襟草丁による客室作品と、階段室を中心とした神奈川大学曾我部研究室によるプロジェクトが完成しました。

浅井+襟草作品は、色テープを貼り合わせることで部屋全体にドローイングを施したもので、シンプルでありながら表情豊かな空間を生み出しています。一般公開日およびツアーの際にもご覧いただけますが、ぜひ宿泊利用にてゆっくりとお楽しみください。引き続き、写真家の武田陽介による滞在プログラムも展開しています。（裏面参照）



浅井裕介+襟草丁《テープ森/天籟》Photo:Ken Kato



神奈川大学曾我部研究室《Hostel Zen 学校化計画（理科室）》Photo:Ken Kato

寿町について

東京の山谷、大阪の釜ヶ崎（あいりん地区）と並んで俗に「日本三大ドヤ街」と呼ばれています。寿町は1955年（昭和30年）代以降に形成された比較的新しいドヤ街（簡易宿泊所が集積するまち）です。日雇労働者が多く宿泊し暮らしていましたが、労働の需要が減少するに伴い人口が減少、近年では高齢者や生活保護受給者の方々が多く住む福祉のまちへと姿を変えつつあります。また、2005年頃よりこのまちに新たな可能性を見出すべくまちづくりや文化芸術に関わる活動が増えはじめています。JR 線石川町駅徒歩5分、横浜市営地下鉄伊勢佐木長者町駅徒歩7分に位置し、近くには中華街や元町商店街などがあります。

コトブキンちゃん出沒中!

アーティストの竹本真紀さんが制作した寿町の非公式キャラクター（?）「コトブキンちゃん」が寿町の様々な店舗やドヤの窓、壁面など様々な場所に増殖中です。ウェブサイトにてオリジナルマップを配布中。もちろん、ツアー中にもご覧いただけます。

